

獣医学共用試験の 実施準備状況

共用試験委員会

杉山 誠、北川 均(岐阜大)

高井伸二(北里大)

なぜ獣医学で共用試験

- ◆ 参加型臨床実習の実現
- ◆ 参加する学生の質の保証(対社会)

↓
大学毎 or 全国大学で

↓ ← 周りの状況: 医歯薬で共用試験実施

全国大学獣医学代表者協議会

各大学の責任で参加

↓
平成28年度実施

→ 共用試験委員会

獣医学教育改善と共用試験



獣医学と先行分野の違い

	医学	歯学	薬学	獣医学
共用試験実施主体	(社)医療系大学間共用試験実施評価機構		NPO法人・薬学共用試験センター	獣医学共用試験機構(仮)
参加大学	80大学	29大学	66大学	16大学
参加学生数	7800名	2200名	9400名	1000名
事業規模	5億6千万		3億8千万	?

貧乏でも出来る共用試験

← 同様な共用試験実施



獣医学共用試験実施組織

全国大学獣医学代表者協議会

↓
獣医学共用試験代表者会議

共用試験委員会

↓
獣医学共用試験機構(仮)

vetCBT小委員会

↓
vetCBT問題MF小委員会

vetOSCE準備小委員会

トライアル実施小委員会 → 共用試験実施委員会

広報小委員会

獣医学共用試験

目的: 参加型臨床実習を受講する学生の事前客観的評価

方法: 大学が自ら実施＝国試と異なる

内容:

vetCBT: vet. Computer-based Testing

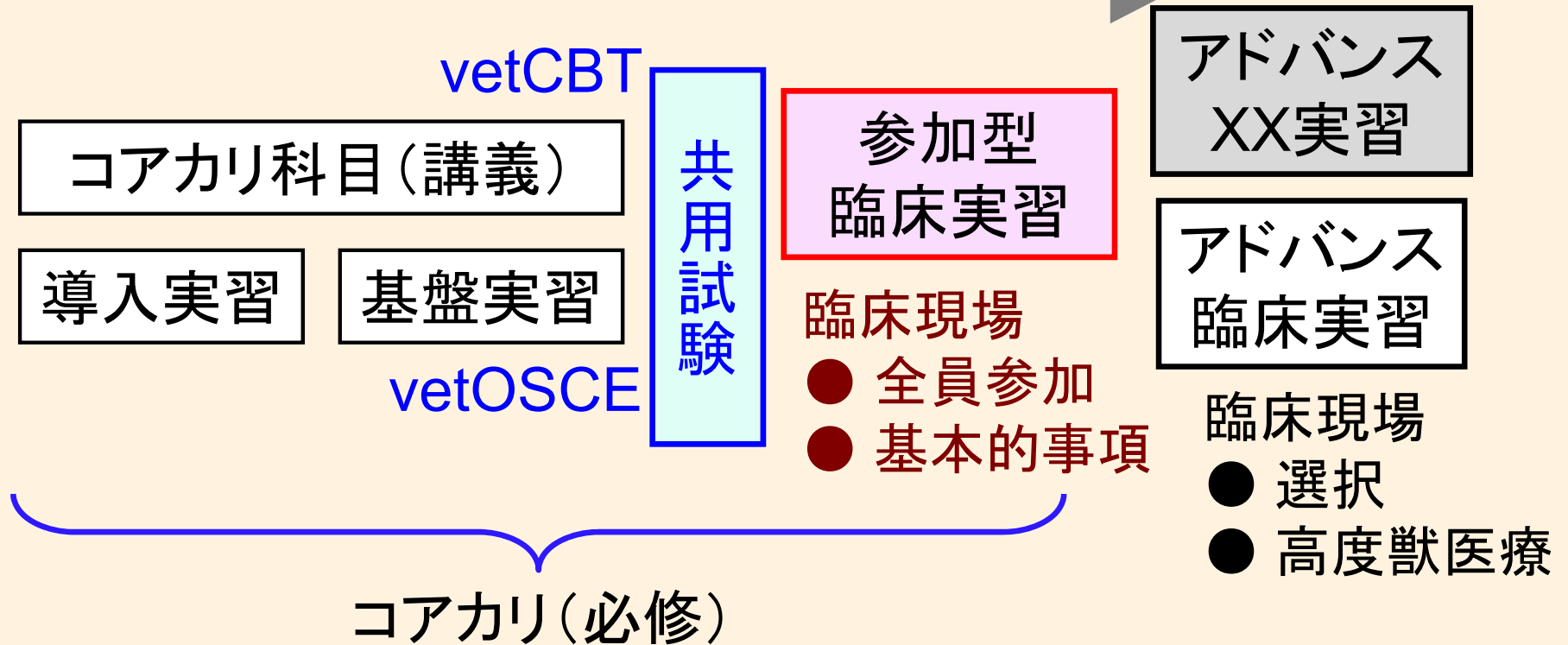
獣医学の基盤的知識を評価する試験

vetOSCE: vet. Objective Structured Clinical Examination

技能・態度を評価する獣医臨床能力試験

獣医学共用試験

学 年 進 行



共用試験: 参加型実習に参加する学生の
獣医師法違反阻却要件

vetCBT?

全国大学獣医学代表者協議会

共用試験委員会

vetCBT小委員会

vetCBT問題MF小委員会

vetOSCE準備小委員会

トライアル実施小委員会

広報小委員会

vetCBT問題内容検討部会

基礎・導入分野

病態分野

応用分野

臨床分野A

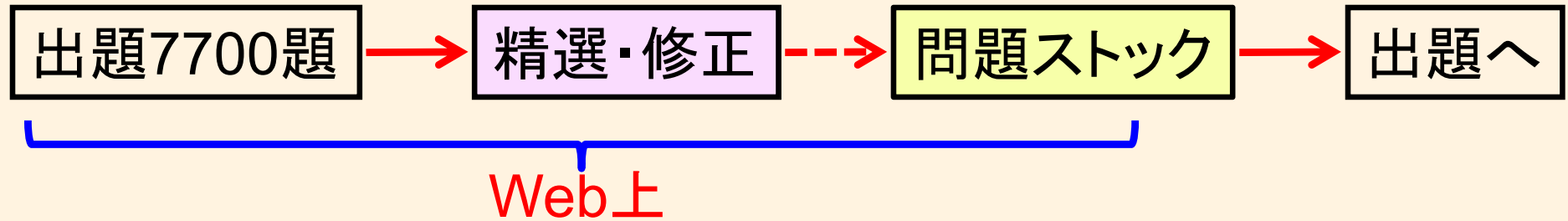
臨床分野B

科目責任者
科目副責任者
20名

コアカリ50科目・科目委員3名
=150名(延べ)

出題者646名

vetCBT問題？



共用試験 (CBT)

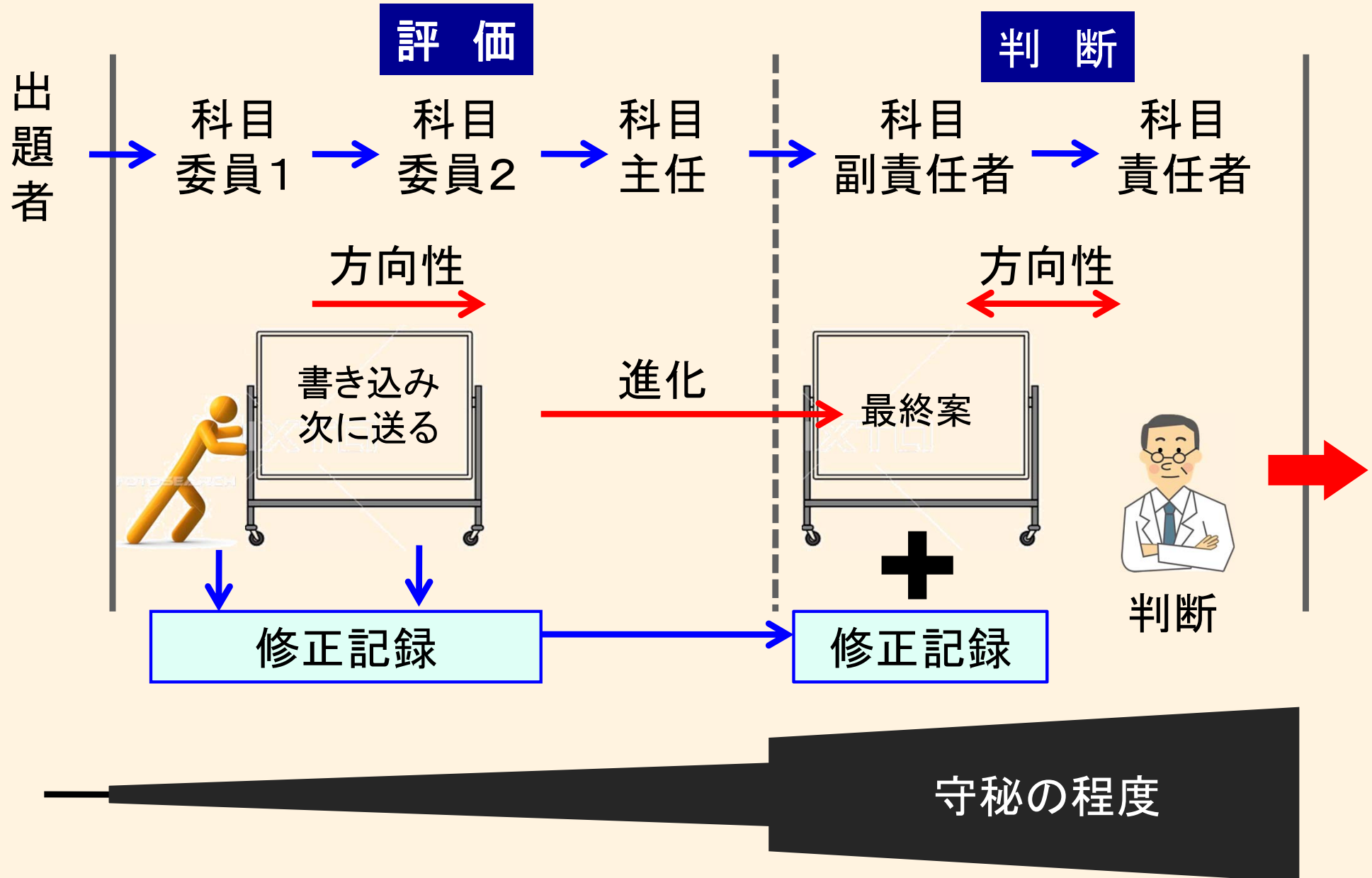
300題出題／人(仮) $300 \times 1分 = 300分 = 5時間(丸1日)$

医学・歯学320問(6時間)、薬学310問(6時間)
獣医師国試: 必須1分、学説1.5分、実地2分

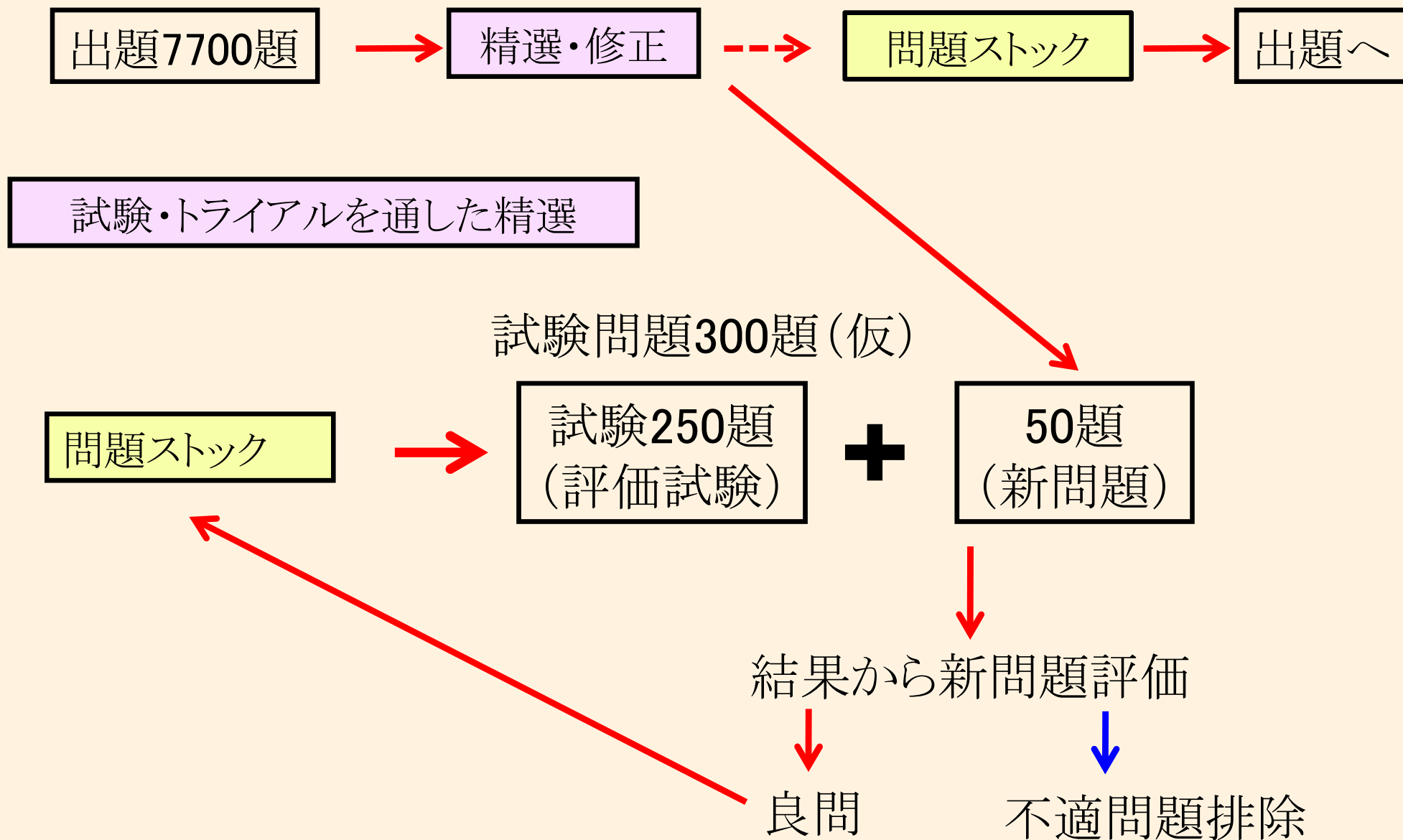
1問1分
シンプル
肯定型

ひねった問題、凝った問題、難問・奇問排除...

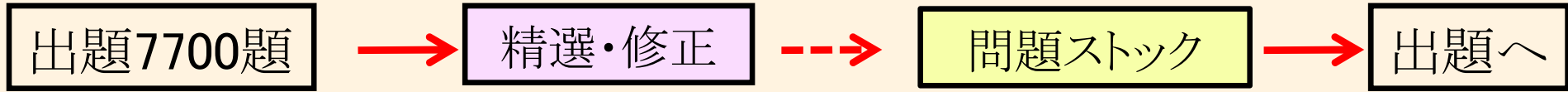
vetCBT問題精選システム？



vetCBT問題？

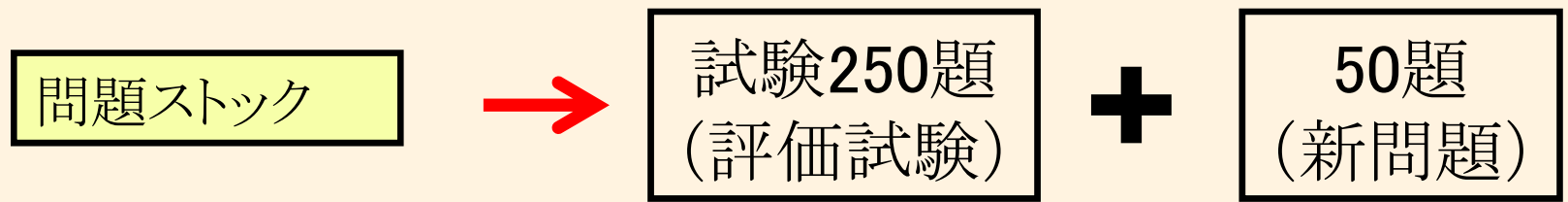


vetCBT問題？

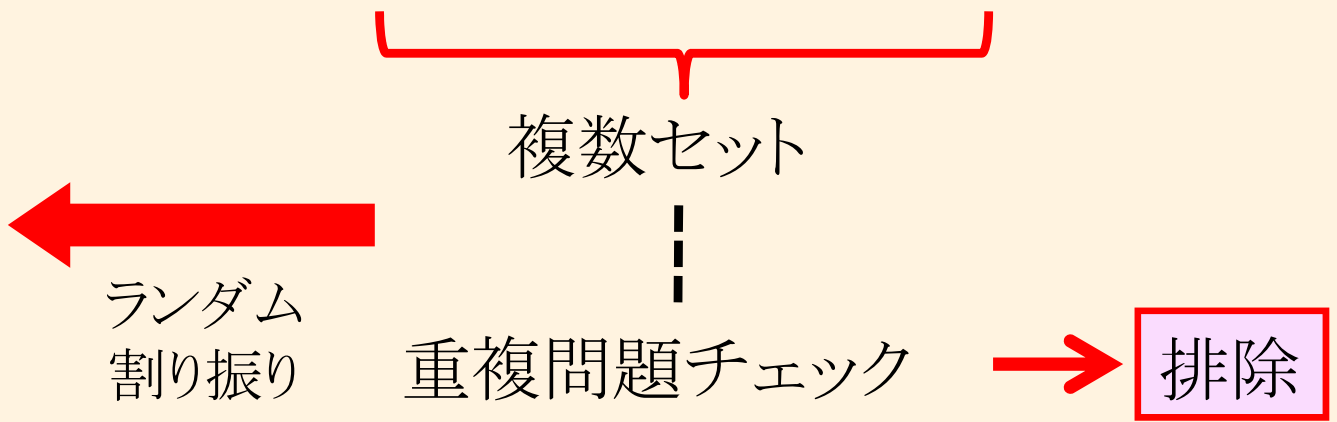


試験・トライアルを通じた精選

試験問題300題(仮)



共用試験
(vetCBT)



vetCBT: 残された課題

- ◆ 継続可能な作業か？
- ◆ 問題の偏り(科目内、科目間)
- ◆ 出題システム＋試験方法
- ◆ 問題作成マニュアル
- ◆ 解答結果からの問題評価
- ◆ 出題基準＝コアカリ準拠テキストの整備
- ◆ 参加型臨床実習環境の整備
- ◆ コアカリの改訂(全講義科目出題)

.....

vetOSCE?

診療の基本的事項の確認

◆ インタビュー(医療面接)の基本

動物⇔飼い主⇔獣医師のコミュニケーション

態度・服装、あいさつ、自己紹介、導入質問
基本的事項(飼い主との会話)

身体検査の前まで

= 病気の診断(各論)を要求しない

◆ 基本的診療技術

小動物(イヌ)、産業動物(ウシ)

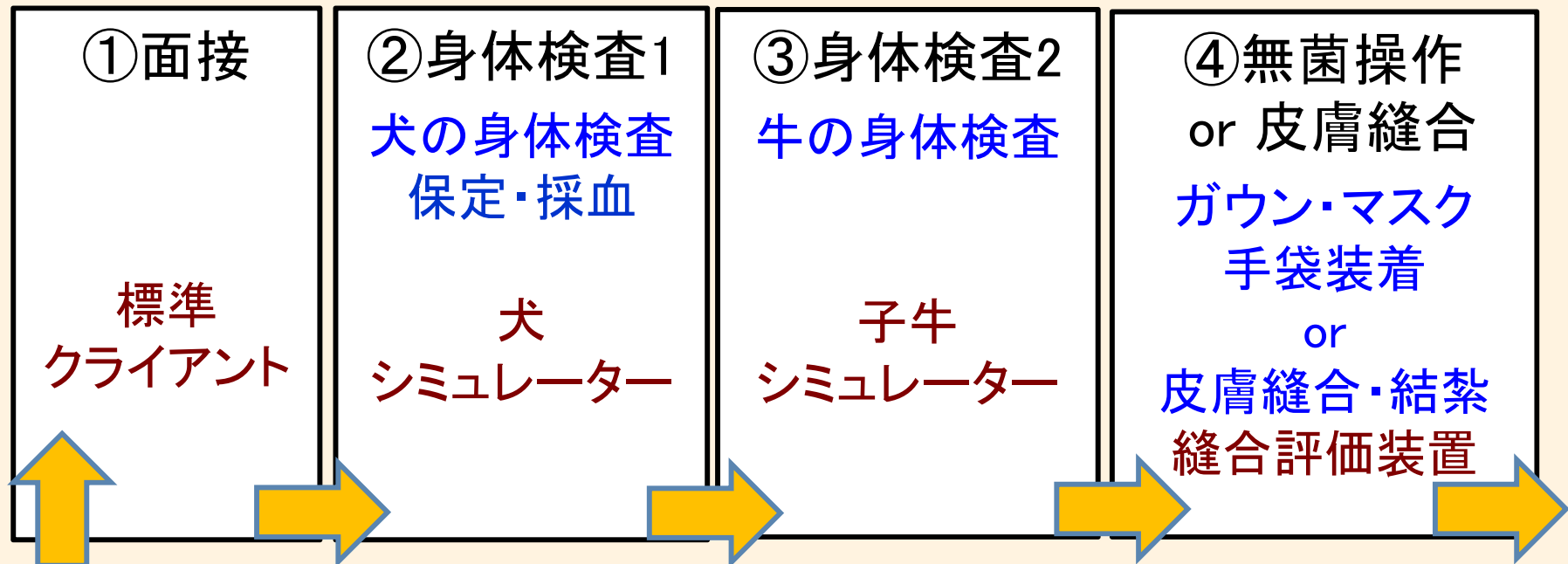
身体検査、保定・採血、無菌操作・縫合など

vetOSCE実施計画

試験項目：基本的事項(面接と基本的手技)を問う

4ステーション ①面接→②犬身体検査→③牛身体検査
→④無菌操作 or 皮膚縫合

vetOSCEのレーンの例



動物かシミュレーターか？

◆ 生きた動物の使用

動物が受けるストレス・消耗・複数の動物が必要（動物福祉）

動物管理、均一性維持が困難

不均一な動物＝均一な試験を実施できない

都会の大学：産業動物の準備困難

学生：ケガの可能性

⇒ シミュレーターの利用

◆ シミュレーター

均一な試験可能

扱いやすいサイズ

どの大学でも実施可能

多人数の使が可能



vetOSCE準備段階

◆面接

事前実習・・・公開実習を実施

標準クライアント・・・委託を検討中

◆シミュレーター開発

犬シミュレーター(TPR dog) = 開発中

子牛シミュレーター = 開発中

皮膚縫合シミュレーター = 既存製品使用

◆評価者養成・・・検討中

バイタルサインベビーII

実録心音。心拍数音量調節可能

生体に近い柔らかさ

脈拍触診可能。心音に同調

呼吸数は心拍数に伴って変化

体温(直腸温検温)の調節可能(32~42°C)



皮膚縫合自動
評価装置

獣医学共用試験：残された課題

- ◆ 機構の設立（財務的基盤の確立）
- ◆ vetCBT問題精選システムの確立
- ◆ vetCBT出題システム・試験法の確立
- ◆ vetOSCE実施環境の整備
- ◆ トライアル試験の実施……………

獣医学共用試験の 実施準備状況

共用試験委員会

杉山 誠、北川 均(岐阜大)

高井伸二(北里大)